行為とは意志にもとづくものであり、人はみな自らの意図したものを得ることになる。

ウマル・ブン・アル＝ハッターブ（アッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った: 「行為とは意図にもとづくものであり、人は自らの意図したものを得ることになる。したがってアッラーとその使徒のために移住した者の移住は、アッラーとその使徒のための移住であり、現世の利益、または女性との結婚のために移住した者の移住は、彼がそれを目的として行なった移住なのである。」アル＝ブハーリーの伝承には、こうある：「行為とは意
志にもとづくものであり、人はみな自らの意図したものを得ることになる。」 [صحيح] [متفق عليه]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は説明する：すべての行為は、その意図によって意味をなす。この規定は崇拝行為、取引など、あらゆる行為における一般的なものである。ゆえに自分の行いによって単なる利益を意図した者は、その利益しか得ることがなく、宗教的報奨を得ることはない。一方、自分の行いによってアッラーのお近づきを求める者は、たとえそれが飲食などの普通の行為であったとしても、それによって宗教的報奨を得ることになる。 それから預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、一見同じような行いでも意図がいかに影響するかを説明するにあたり、このような例えを挙げている：主アッラーのお喜びを求め、それを目的として移住し、故郷を後にする者の移住はイスラームの教えに沿った移住であり、その純真な意図によってその者は報奨を得ることになる。一方、移住によって財産、地位、商売、配偶者といった現世的利益を意図する者は、自分が意図したものしか得ることはなく、宗教的な報奨の取り分はない。

https://sunnah.global/hadeeth/ja/show/4560